

## 平成 16 年度第 1 回日本スポーツ少年団委員総会議事録

日 時 平成 16 年 6 月 9 日 (水) 13 時 30 分 ~ 15 時

場 所 財団法人日本体育協会 講堂

出席者 長沼本部長、佐藤・田中・吉田の各副本部長

< 常任委員 > 折原、片山、山岸の各常任委員

< 委 員 > 島中 (北海道) 國安 (青森) 谷藤 (岩手) 三上 (宮城) 原田 (山形) 佐藤 (福島) 高野 (茨城) 山野井 (栃木) 藤沼 (埼玉) 碓井 (神奈川) 水上 (山梨) 柴 (長野) 廣川 (新潟) 吉田 (富山) 石島 (石川) 山口 (福井) 田宮 (静岡) 森 (愛知) 松井 (三重) 福田 (岐阜) 松井 (滋賀) 田中 (京都) 佐藤 (兵庫) 西浦 (奈良) 神前 (和歌山) 定常 (鳥取) 猪木 (岡山) 吉長 (広島) 佐竹 (山口) 住谷 (香川) 久保 (愛媛) 高橋 (高知) 厨 (福岡) 中島 (佐賀) 吉居 (長崎) 安東 (大分) 中村 (宮崎) 国吉 (沖縄)

< 委 任 > 菅原・村田・中原・小杉・枝川・山崎の各常任委員  
内田 (群馬) 青木 (千葉) 岩崎 (大阪) 織奥 (島根) 三谷 (徳島) 玉川 (鹿児島)

< 代理出席 > 伏見 (秋田) 梶山 (東京) 永野 (熊本)

< 事務局 > 岡崎事務局長、古賀次長、小寺部長、川島課長、向佐課長  
他青少年スポーツ部員

事務局より、設置規程第 15 条にもとづく会議成立の報告を行い開会。

議事に先立ち、田中副本部長より、去る 5 月 12 日に長沼本部長が旭日中綬章を受章された旨報告があった。

その後、長沼本部長を議長とし、同本部長の挨拶の後、議事に入った。

### < 議 案 >

#### 1. 平成 15 年度日本スポーツ少年団事業報告および決算 (案) について

事務局より資料に基づき、事業報告および決算 (案) について説明。協議の結果、原案どおりこれを承認。なお、本案については、来る 6 月 22 日開催の日本体育協会評議員会で最終承認を得ることを確認した。

#### 2. 平成 17 年度日本スポーツ少年団事業計画 (案) および要望予算の編成について

事務局より事業計画立案にあたっての経過説明の後、資料に基づき事業計画 (案) について説明。協議の結果、これを承認。

なお、要望予算の編成については、速やかに計画にそって編成作業に入るが、そのとりまとめは本部長に一任願、後日報告したい旨諮り、これを承認。

### 3. 日本スポーツ少年団「第8次育成5か年計画」について

事務局より、「第8次育成5か年計画」(第1次素案)について資料に基づき説明。

なお、第8次育成5か年計画の策定については、委員総会での意見や各都道府県からの意見を参考に、各専門部会等で再度協議し、11月の第3回常任委員会に「修正案」として提示する予定である旨説明。併せてこれを承認。

松井委員(滋賀県)より、登録料の一本化について、計画に盛り込んで欲しいという意見があり、これに対し事務局より、「登録制度の検討」項目に含む形で、今後検討する旨回答。

#### < 報告事項 >

##### 1. 平成16年度日本スポーツ少年団事業予算について

事務局より、去る3月開催の平成15年度第2回委員総会にて承認を得、その後の各種助成金・補助金内定を受けての最終編成を本部長に一任されていた平成16年度日本スポーツ少年団事業予算(実行予算)について、資料に基づき当初予算との変更点を中心に説明。これを了承。

##### 2. 平成16年度日本スポーツ少年団顕彰について

事務局より資料に基づき、本年度の顕彰事業として、34都府県58市区町村スポーツ少年団および45都道府県132名の指導者を6月8日付で表彰し、都道府県スポーツ少年団を通じ表彰楯を交付すること、および退任指導者に対する感謝状の贈呈を従来同様各都道府県に一任し、年度末に一括報告願う形態をとる旨併せ報告。これを了承。

なお、表彰市区町村および指導者については、「Sport JUST」7月号に掲載し公表する。

福田委員(岐阜)より、市町村合併に伴う市町村数の減少により、顕彰数が大幅に削減されることから、顕彰数の基準について見直しをして欲しい旨、要望。これに対し事務局より、顕彰の基準となる市区町村の創設年月日については、合併される市町村の創設年月日も考慮していることを説明、また顕彰数の基準については、今後顕彰要綱見直しを検討する旨回答。

##### 3. その他

###### ・ スポーツ少年団活動における安全対策・事故防止と指導者モラル向上について

平成16年度第1回常任委員会において報告された、秋田市内のバレーボールスポーツ少年団の事故に関して活動開発部会にて検討した結果、体罰やセクシャルハラスメントに対する指導者のモラル向上の内容も含め、資料の通り都道府県スポーツ少年団本部長宛依頼文を発信したことを報告。これを了承。

以上の協議の後、大塚製薬株式会社販売促進部の徳住部長より、特別協賛事業「スポーツ活動サポートキャンペーン事業」についての説明と挨拶がなされ、15時閉会した。